

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	当科において気管切開を行った頸部リンパ管腫症例の検討			
2. 対象患者	1997年4月から2020年12月まで当科において気管切開を行った頸部リンパ管腫の患者さん 5名			
3. 対象となる期間	1997年4月1日		～	2020年12月31日
4. 実施診療科等	小児外科			
5. 研究責任者	氏名	平林 健	所属	小児外科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし			
7. 研究の意義	リンパ管腫は、生命的予後には 大きな問題は無いものが、ほとんどですが、頸部・縦隔に発生したものは、気道閉塞症状をきたし、致命的な結果をきたすことがあります。特に、新生児期は危険性が高いと考えられます。気管切開を行った頸部リンパ管腫症例を検討し、より効果的な気道管理法(気管切開を回避した)の可能性を検討し、治療の一助にしたいと考えます。			
8. 研究の目的	1997年4月から2020年12月までの当科において気管切開を行った頸部リンパ管腫5例の、妊娠経過中の胎児画像、気管切開時月齢、気管切開前治療を検討し、気管切開に陥った原因を検討します。			
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合はの方法等)	診療録を利用し、妊娠経過、気管切開時月齢、気管切開前治療を検討し、気管切開に陥った原因を検討します。また、可能であれば妊娠経過中の胎児画像(超音波画像 MRI画像)から新生児期気管切開の適応に関しても検討します。			
10. 個人情報の保護	患者さん個人が特定される情報を公開することはありません。研究結果は学会等で報告されます。拒否の申し出があった場合は、対象者のデータは削除いたします。ただし、拒否の申し出があった時点で既に学会発表や論文として掲載済の場合、公表後の内容を修正することはできません。			
11. 利益相反に関する状況	本課題の研究代表者が所属する講座では、(株)ヤクルト本社、中外製薬(株)、アステラス製薬(株)、大鵬薬品工業(株)から寄附金を受領しており、利益相反状態にありますが、これらは本課題の資金源ではなく、研究は講座の研究グループによって公正に実施されます。本研究の利益相反状態については、弘前大学大学院医学研究科医学研究(臨床研究等)利益相反マネジメント委員会の審査を受けています。			
12. 連絡先	弘前大学医学部附属病院小児外科 平林 健			
	電話	0172-39-5079	FAX	0172-39-5080